

令和 3年度

事務事業評価表 ( 令和 2年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		つくば真壁工業団地案内看板管理事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助		事務事業No. 040201000960	
総合計画の施策名		0402 商工業の振興		所属課		050301		商工観光課	
政策名		04 活力ある産業のまちづくり		課長名					
施策名		02 商工業の振興		グループ		商工観光グループ			
手段名		01 ①商工業の振興		担当者名					
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目						単年度繰返し (平成4年度~)			
会計 款 項 目 事業 細						一般会計			
01 07 01 02 01 00						商工振興事業			
法令根拠						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像) つくば真壁工業団地が造成されたことに伴い、3カ所に設置された案内看板を設置した土地の借地契約と借上料の支払い事務を行う。  看板を設置した土地 ・桜川市真壁町塙世611番地1の一部 ・桜川市真壁町上谷貝1565番地1の一部 ・桜川市真壁町東矢貝433番地1の一部  平成31年度より1カ所減	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・5年契約のため、期限が切れないように契約を更新する。 現契約期間：H31.4.1~H36.3.31 ・土地借上料の支払い ・地権者への支払調書の送付

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・5年契約のため期限が切れないように契約を更新する。 現契約期間：H31.4.1~H36.3.31 ・土地借上料の支払い ・地権者への支払調書の送付	地権者数	数	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
つくば真壁工業団地内企業及びその取引企業	つくば真壁工業団地企業数 (操業中)	件	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
つくば真壁工業団地の利便性向上・PRにつながる	看板設置数	件	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

			01年度	02年度	03年度	期間限定 総投入量	
			(実績)	(実績)	(計画)		
投入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	20	20	20	0
	事業費計 (A)	千円	20	20	20	0	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

		02年度事業費 実績 (千円)		03年度事業費 予算 (千円)	
事業費の内訳	13 使用料及び賃借料	20			
		合計	20		

事務事業名	つくば真壁工業団地案内看板管理事業	事務事業No.	40201000960	所属課	商工観光課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成4年に完成したつくば真壁工業団地の案内看板として市内3か所に設置されたことから事業を開始した。 地権者とは5年ごとに契約を更新している。(直近は平成26年4月1日) 平成31年度から1カ所減(桜川市真壁町東矢貝433番地1の一部に設置した案内看板を隣地へ移設について地権者と協議平成31年3月31日で契約終了)					
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか？					
土地借上料に関しては、当看板に関わらず、全般的に見直すべきと市議会等で取り上げられている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市内工業団地の認知度・利便性向上に寄与しており、市内企業の振興につながっている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？)(法定受託事業はその名称)
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市の工業団地を案内する看板であり妥当である。	
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 看板があることにより、つくば真壁工業団地の認知度や取引企業との物流の活性化や利便性向上が期待できる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 つくば真壁工業団地の認知度が低くなり、団地内空地を検討する企業へのイメージダウンや利便性の低下が懸念される。	
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む))
	(他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名   つくば真壁工業団地管理組合での事業
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 市内の工業団地には入口看板を団地内企業でお金を集めて管理しているところもあるため、管理を団地内企業の組合組織に引き継ぐことで、事業廃止ができる。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 年間1万円であり削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市の工業団地の案内であり公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	H30年度に1カ所の看板敷地を市有地に移動したため、H32年度からは2カ所となり借地費の削減になった。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 看板が老朽化しつつあるため、年に1回以上の現況確認をする必要がある。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○						
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○																		
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="radio"/>																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>